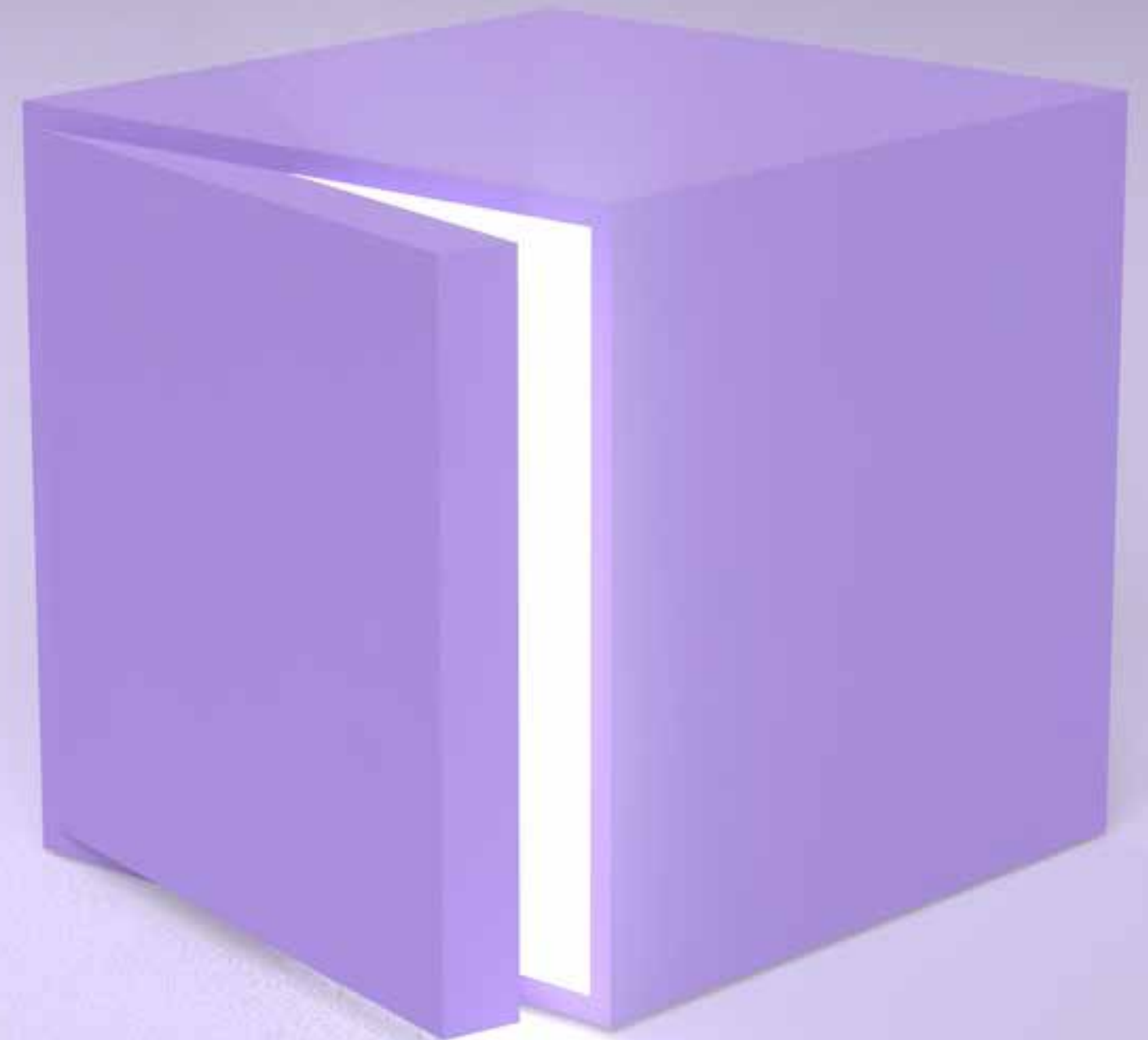


BUYER'S GUIDE

Oracleデータベースに スーパーパワーを

オンプレミスとクラウド、
どちらにも最適なインフラを選択

 NetApp



目次

- 2 ハイレベルなインフラを →
- 3 ソリューションをどこに導入するか →
- 4 そのソリューションはイノベーションの促進に有効か →
- 5 そのソリューションで顧客に一貫したエクスペリエンスを提供できるか →
- 6 そのソリューションで運用を簡易化してTCOを削減できるか →
- 7 最強のタグ：Oracleとネットアップ →
- 8 面倒な手間なく、どこへでも導入可能 →
- 9 プロジェクト期間を最大30%短縮 →
- 10 時と場所を問わず必要なデータにアクセス →
- 11 運用を簡易化し、コストを削減 →
- 12 鳥だ！飛行機だ！いや…… →

ハイレベルなインフラを

今日のビジネスは、Oracleデータベースで回っていると言っても過言ではありません。必要なときにOracleデータベースにアクセスできなければ、企業はたちまち窮地に陥ります。しかし、どれほど強力なツールにも、必ず弱点があります。統合されていないインフラや老朽化したストレージシステムがあると、具体的な問題に至るよりも前に、Oracleデータベースの力が弱まり、次の症状が現れます。

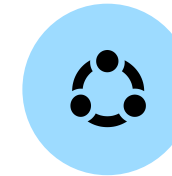
- パフォーマンスが全体的に低下し、最新のOracleデータベースの要件を満たせなくなる
- リソースのプロビジョニングやデータベースのクローニングに時間がかかり、テスト / 開発のサイクルが長期化する
- ダウンタイムやセキュリティ侵害のリスクが高まる
- 電力、冷却、設置面積のコストが上昇する
- 管理とメンテナンスに手間がかかる

思い当たる節はありませんか？最新型インフラは、Oracleデータベースにワンランク上のビジネスを実現するスーパーパワーを提供し、スーパーマン並みのスピード、強靭さ、そして不死身の耐障害性をもたらします（実際にスーパーマンと比べたわけではありませんが、ネットアップが追い求めているのは、このレベルです）。

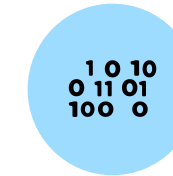


Oracleインフラに最適なソリューションを選ぶには

Oracleインフラの最新化に最適なソリューションを選ぶには、どうすればよいでしょうか？スーパーマンやスパイダーマンを探す必要はありません。以下の4点について考えれば、答えは自ずと決まります。



ソリューションをどこに導入するか



そのソリューションはイノベーションの促進に有効か



そのソリューションで顧客に一貫したエクスペリエンスを提供できるか



そのソリューションで運用を簡易化してTCOを削減できるか

ソリューションをどこに導入するか

まず決めなければならないのは、ソリューションをどこに導入するかです。オンプレミスですか？クラウドですか？それとも両方でしょうか？



オンプレミス

Oracleデータベースをデータセンター内に配置しておくことで、以下を最大化できます。

パフォーマンス | 管理性 | データ保護



クラウド

クラウドを導入先に選ぶと、オンプレミスのソリューションに付きもののCAPEX（設備投資）や管理スキルが不要になり、Oracleインフラを簡単に最新化して、以下を実現できます。

コスト効率 | 優れた拡張性 | 手軽な導入とプロビジョニング

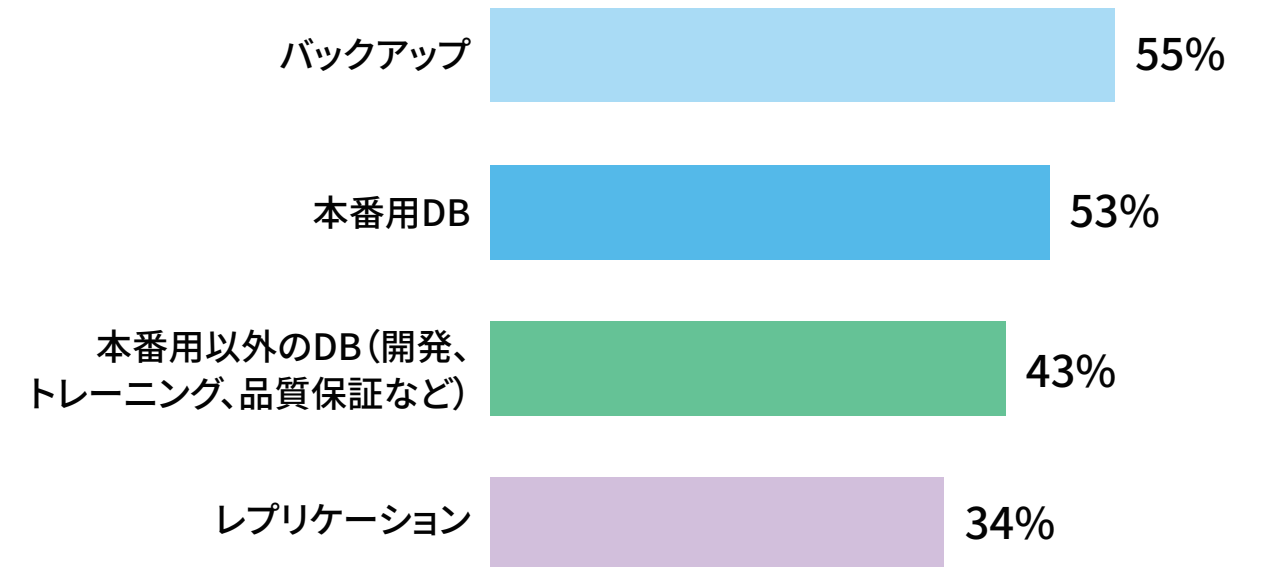


ハイブリッド クラウド

ハイブリッド クラウド ソリューションは、パフォーマンスと管理性に優れたオンプレミスのソリューションに、クラウドの手軽さと柔軟性をプラスして、以下を実現します。

即応性 | 優れた拡張性 | 管理性

ネットアップはPulseコミュニティを対象に、Oracleデータベース環境を構成する要素について、どれをクラウドに移行する予定かを調査しました。



N = 76 (テクノロジーリーダー)
www.pulse.qa提供

そのソリューションは イノベーションの促進に有効か


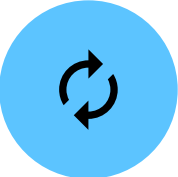


「急がば回れ」がすべてに当てはまるわけではありません。成功するには、急がなければならない場合もあります。これは、より多くのプロジェクトをより早く実行すれば、市場投入までの時間を短縮できるということです。これを、競合企業よりもスムーズに行うには、Oracleデータベースにスーパーパワーを与える必要があります。イノベーションの足を引っ張るのではなく、イノベーションを促進するOracleソリューションが必要です。

そうすると、求めるべきものは何でしょうか？ソリューションが、こちらに挙げた重要な機能や特長を備えているかどうかを確認してください。

- ✓ 組み込みの自動化機能
- ✓ シンクローニングテクノロジー
- ✓ スムーズなスケールアップやスケールアウト
- ✓ ITインフラ全体にわたるデータアクセス

機能や特長が重要な理由

ソリューションに左記の重要な機能や特長が備わっていると、次のことが可能になります。

	新規プロジェクトをすばやくセットアップ	あらかじめ組み込まれた自動化機能でOracleプロジェクト環境を迅速にセットアップし、人為ミスのリスクを低減。ワンタッチの自動処理により、通常だと数日かかるシステムのプロビジョニングとプロトタイプの実成が数分で完了
	開発サイクルを短縮	シンクローニングテクノロジーにより、数時間から数日かかっていた巨大ボリュームのクローン作成がわずか数秒に。テスト中にデータが破損しても、ほぼ瞬時にテストを再開することが可能
	制限のないシームレスな拡張性	スケールアップもスケールアウトもスムーズに。ビジネスニーズに合わせて、システム停止やダウンタイムなしで環境を拡張。データ移行やオペレーティングシステムの変更も不要。プロジェクトのボトルネックがなくなり、淀みのないイノベーションが実現
	データに基づく確かな意思決定	ITインフラのどこにデータがあってもアクセス可能。オンプレミスでもクラウドでも、ビジネスデータの動きをまんべんなく追跡、分析することで、データに基づく確かな意思決定を実現

そのソリューションで顧客に一貫したエクスペリエンスを提供できるか

パソコンに1ページ読み込むのに10分もかかって、その間、スマートフォンの画面を眺めて時間をつぶした経験はありませんか？お客様には待っている時間などなく、すぐに次の作業に移りたいと思っています。常時稼働のパフォーマンスと可用性は、最新式のOracleソリューションに欠かせない要素です。

そうすると、求めるべきものは何でしょう？ソリューションが、こちらに挙げた重要な機能や特長を備えているかどうかを確認してください。

- ✓ オールフラッシュストレージシステム
- ✓ プロアクティブな監視と予測分析
- ✓ 複数の障害が同時に発生しても切り抜けられる耐障害性
- ✓ 自動リカバリ
- ✓ システム停止不要のソフトウェア アップデートとハードウェア メンテナンス

機能や特長が重要な理由

ソリューションに左記の重要な機能や特長が備わっていると、次のことが可能になります。

	アプリケーションの応答時間が一貫して高速に	オールフラッシュストレージシステムにより、アプリケーションの応答時間を半分に短縮し、ピーク時の要件にも難く対応 プロアクティブな監視と予測分析でボトルネックを回避し、問題の発生を未然に防止
	可用性が最大限に向上	同時に発生した複数の障害にも、パフォーマンスを低下させることなく対処 障害が発生したドライブやノードを、数分で自動リカバリ ソフトウェア アップデート時やハードウェア メンテナンス時のシステム停止が不要
	24時間常時稼働	ソリューションに、実現可能なディザスタリカバリ計画が含まれていること。できれば、システム停止なしで計画をテストできることが望ましい
	場所を問わないデータ保護	統合された自動データ保護機能により、エッジ、コア、クラウドのすべてのリソースでデータを安全に保護

そのソリューションで運用を簡易化して TCOを削減できるか




Oracle環境は扱いに熟練が必要なうえ、コストもかかります。管理とメンテナンスを簡易化できれば、コストと時間の節約につながります。それには、運用をシンプルにして、TCOを削減するOracleソリューションが必要です。

そうすると、求めるべきものは何でしょう？ソリューションが、こちらに挙げた重要な機能や特長を備えているかどうかを確認してください。

- ✓ 自動化機能が組み込まれたユニファイド アーキテクチャ
- ✓ 統合データ プロテクション
- ✓ クラウドを標準で統合
- ✓ 全面テスト済みの実績あるソリューション
- ✓ 容量の自動監視とプロアクティブな問題監視
- ✓ 個別に拡張可能なコンピューティングとストレージで、QoSを達成
- ✓ リソースの消費状況やコストの把握に役立つツール
- ✓ データの重複排除と圧縮

機能や特長が重要な理由





ソリューションに左記の重要な機能や特長が備わっていると、次のことが可能になります。

	管理の複雑さを軽減	ユニファイド アーキテクチャ、組み込みの自動化機能、統合データ プロテクションで管理を簡易化し、オンプレミスとクラウドのリソースの間で自由なデータ移行を実現すべての大手クラウド サービス プロバイダと標準で統合されているため、クラウドへの移行が簡単
	推測による試行錯誤をゼロに	全面テスト済みの実績あるソリューションで、Oracleデータベースとシームレスに連動。容量の自動監視とプロアクティブな問題監視により、ストレージの購入や問題のトラブルシューティングにあたって、推測に基づく試行錯誤が不要に
	TCOを削減	サービス品質 (QoS)、個別に拡張可能なコンピューティングとストレージ、リソースの消費状況とコストの把握に役立つツール、Storage Efficiencyテクノロジー (データの重複排除、データ圧縮) により、コストを常に抑制

最強のタッグ： Oracleとネットアップ

老朽化したアプリケーションやデータセンターを一新。ITチームを日々の管理の負担から解放。99.9999%以上の可用性でシステム障害を防止。Oracleとネットアップは、統合された1つのソリューションとして機能したときに真の威力を発揮します。統合ソリューションで、最強タッグのパワーをお確かめください。

Oracleにネットアップをお勧めする理由

-  面倒な手間なく、どこへでも導入可能
-  プロジェクト期間を最大30%短縮
-  時と場所を問わず必要なデータにアクセス
-  運用を簡易化し、コストを削減





「データセンターに関する事情は企業ごとに異なりますが、Oracleデータベースストレージをネットアップのストレージプラットフォームに統合すると、管理にかかる時間が減るだけでなく、Oracleデータベースのユーザ、開発者、DBAのニーズも満たせます。これはコスト削減と同じであり、OracleデータベースにふさわしくないストレージプラットフォームからNetApp AFFやNetApp FASに乗り換える理由としては十分です」

—Evaluator Group, Inc.¹



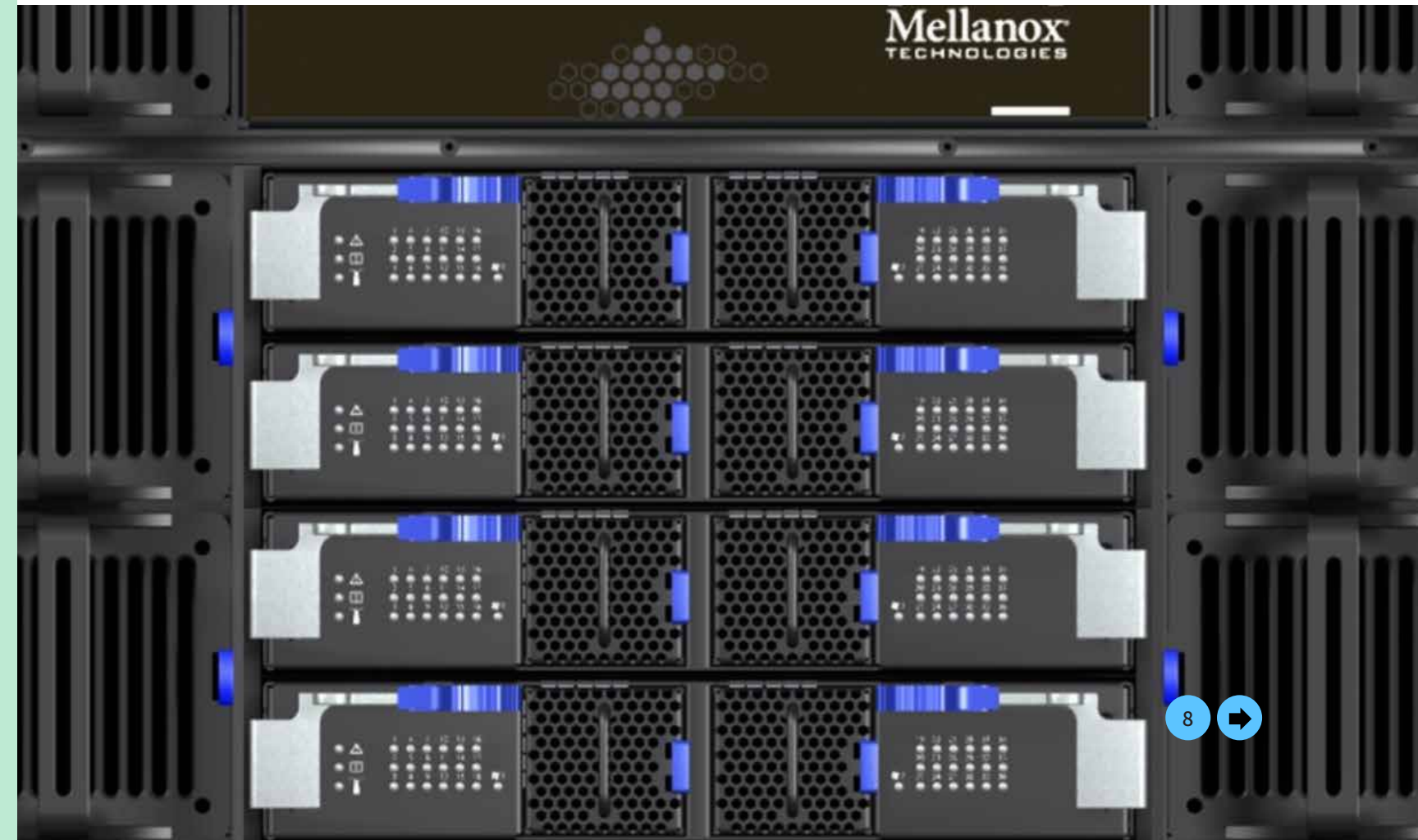
面倒な手間なく、 どこへでも導入可能

ネットアップとOracleを動的に統合することで、次のことが可能になります。

-  クラウド並みの効率性をオンプレミスで実現
-  どのハイパースケラを選択しても、オンプレミスと変わらないパフォーマンスとデータ保護をクラウドで実現
-  大手クラウド サービス プロバイダと標準で統合しているため、リファクタリングが不要。クラウドにデータを移動するだけの手軽さ
-  ベンダー ロックインなし。好きなペースでクラウドに移行できるハイブリッド クラウドソリューション

「当社が求めていたのは、オンプレミス環境に統合できるクラウド ストレージ ソリューションです。それが、ネットアップを選んだ一番の理由です。数社の製品に絞り込んで機能を比較したところ、ネットアップの製品が最も成熟しており、クラウドに使える機能が多数あることがわかりました。そのような機能は他社にはありませんでした」

—Mellanox ストレージ チーム リーダー Nir Boyarsky氏
[ユーザ事例の全文を読む](#)



プロジェクト期間を最大30%短縮

ネットアップは以下のようなソリューションで、IT運用の超高速化を実現します。



組み込みの自動化機能により、数日ではなく数分でテスト / 開発システムをプロビジョニング。クラウド ボリュームなら、わずか8秒でプロビジョニング可能



ストレージスペースを追加で大量に消費することなく、巨大なボリュームのクローンをわずか数秒で作成できるNetApp® FlexClone®シンクローニングテクノロジー



拡張性に優れたNetApp ONTAP®システムは、別のオペレーティングシステムへの移行や変更をしなくても、トランザクションワークロード、分析ワークロード、両者混在のワークロードに幅広く対応



エッジ、コア、クラウドをシームレスにつなぐデータファブリックにより、ITインフラ全体にわたってデータにアクセス

「Azure NetApp Filesを導入したことで、Snapshotを使ってデータベースのバックアップやクローンを 数秒で作成できるようになりました。社内に浸透し、自動化が完了すれば、ビジネスを大きく変える画期的な方法になるでしょう」

—Italgas クラウド サービスおよびインフラ部門 Giuliano Caglio 氏
[ユーザ事例の全文を読む](#)



時と場所を問わず 必要なデータにアクセス

ネットアップとOracleがタッグを組めば、もう心配はいりません。
ネットアップソリューションなら、次の特長を備えたソリューションで
Oracleデータベースを運用できます。



100万IOPSと約100マイクロ秒のレイテンシ



自動フェイルオーバーとシステム停止のないアップデートおよびメンテナンスで、
99.9999%の可用性を実現



ネットアップのSnapshot™とSnapMirror®レプリケーションテクノロジーによる
データ保護をシームレスに統合し、24時間常時稼働を実現



NetApp Active IQ®予測分析とすぐに役立つ情報でリスクを軽減

「調整する際に、サーバをリカバリしてテストを再開するまで、10分待つ
必要がなくなりました。コーヒーを飲む暇もなくバックアップが終わり、
すぐ再開できる状態になります」

ーカリフォルニア州立大学チコ校 エンタープライズ アプリケーション部門
シニア アナリスト プログラマ Mike Wood氏

[ユーザ事例の全文を読む](#)



運用を簡易化し、 コストを削減

Oracleを支えるネットアップソリューションで以下を実現し、
時間（および予算）を節約



統合管理と自動化機能で、時間と手間を90%削減



クラウドとオンプレミスのリソース間で、データを簡単に無停止で移動



実績あるテスト済みソリューションで、Oracleデータベースをスムーズに運用



SPC-2のトップ10にランクインしたオールフラッシュ アレイでMBpsあたり単価の
最安値を達成

「データセンターに関する事情は企業ごとに異なりますが、Oracleデータベース ストレージをネットアップのストレージ プラットフォームに統合すると、管理にかかる時間が減るだけでなく、Oracleデータベースのユーザ、開発者、DBAのニーズも満たせます。これはコスト削減と同じであり、Oracleデータベースにふさわしくないストレージ プラットフォームからNetApp AFFやNetApp FASに乗り換える理由としては十分です」

—Evaluator Group John Webster氏
Technical Insight Reportより
[レポートを読む](#)



鳥だ！飛行機だ！いや……

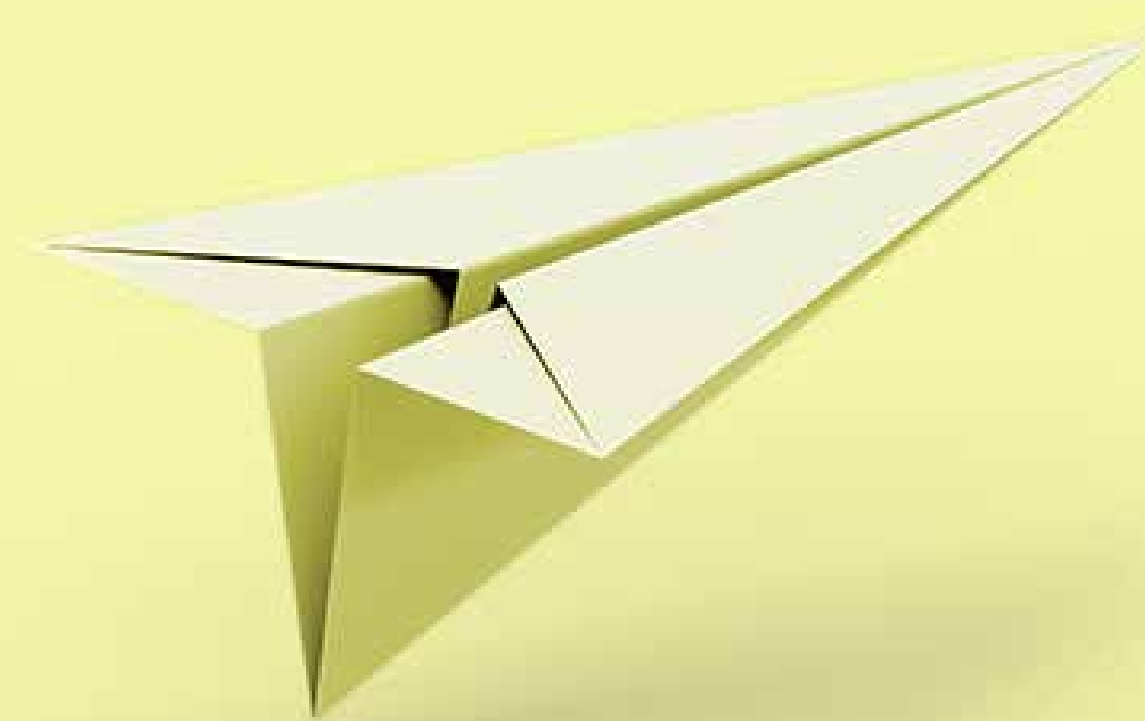
……スーパーマン級のハイブリッド クラウド インフラです。ネットアップなら、データ ファブリックを構築してビジネスのニーズに応えるとともに、現在だけでなく将来にわたって有効な競争力を身につけることができます。

お客様に超人的な力を与えることはできませんが、お客様の力となってOracleデータベースを救うことはできます（ソリューションにマントやマスクは含まれません）。

ネットアップのOracle向けソリューションについて、詳細はこちらをご覧ください。

- [ネットアップのOracleデータベース ソリューション](#)
- [Azure向けOracleデータベース ソリューション](#)
- [AWS向けOracleデータベース ソリューション](#)
- [Top 10 Reasons Your Oracle Applications Belong on NetApp](#)
- [NetApp EシリーズEF570とOracle](#)
- [Italgas：Oracleへの投資を有効活用するためにAzure NetApp Filesに移行](#)
- [DG Khan：ネットアップのOracleおよびMicrosoftアプリケーション向けハイブリッドストレージでビジネスの成長をサポート](#)
- [Mellanox：クラウドに移行してデータ主体のソリューションに対応](#)

1. Evaluator Group 『NetApp Takes On Oracle Databases』 (2020年7月)



ネットアップについて

ジェネラリストが多い世界で、ネットアップはスペシャリストとしての存在感を示しています。お客様がデータを最大限に活用できるようにすることを1つの目標として、支援に全力を注いでいます。ネットアップは、信頼できるエンタープライズクラスのデータ サービスをクラウドにもたらし、またクラウドのシンプルな柔軟性をデータセンターにもたらしめます。業界をリードするネットアップのソリューションは、さまざまなお客様の環境や業界最大手のパブリック クラウドに対応します。

クラウド主導のData-Centricなソフトウェア企業であるネットアップは、お客様に最適なデータ ファブリックの構築をサポートし、クラウド対応をシンプルに実現し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザにいつでも、どこからでもセキュアに提供できる唯一のベンダーです。

詳細については、www.netapp.com/ja/をご覧ください。